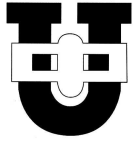


笑顔と誇りをもって、つながる牛中



二気二力

《 校 訓 》 気概 気品 協力 体力

《学校教育目標》

しなやかにたくましく、

夢に向かって前進し続ける生徒の育成

瀬戸内市立牛窓中学校

令和4年度学校通信

第2号

令和4年6月8日発行

TEL 0869-34-2048

FAX 0869-34-4698

メールアドレス

ushichuu@city.setouchi.lg.jp

令和4年度体育会

6月4日(土)、「勝 ～心を燃やせ 最高の仲間と共に～」というスローガンの下、カリヨンの音を合図に、吹奏楽部のファンファーレで、華々しく体育会が開会しました。早朝より応援に駆けつけてくださった保護者の皆様、ありがとうございました。練習段階から当日の片付けまでを振り返ってみて、1つのものをみんなで創り上げる経験は、本当に素敵なことだと感じました。

特にソーラン節は、3学年を縦割りにして、実行委員の指示の下、練習を重ねてきました。先輩から後輩に動きを伝授することで、細部に至るまで完成度の高い踊りに仕上げることができました。先輩にとって、みんなのために働いた経験は自己有用感に繋がると考えます。当日は、大きな掛け声と日差しに映える法被が圧巻でした。異学年交流の効果で、次年度も実行委員のなり手がたくさん出るものと期待しています。

また、競技・演技だけでなく、係に関しても、3年生を中心にきびきびと行動する姿に子どもたちの成長を感じました。この行動力が、今後の学業や部活動に生きてくるものと思います。



生徒総会

生徒総会に先立ち、初めて学級討議を行う1年生の教室には、3年生代表が説明に入りました。さすが3年生という光景でした。さらに、5月23日(月)の生徒総会では、代表生徒による活動計画の説明、それに付随した質疑応答、いずれも歯切れのよさを感じました。

この度、生徒たちは、代表選出に始まり、代表による計画立案、予算要求、総会での承認という議会制民主主義の一連の手続きを体験しました。近年、選挙権が18歳以上に引き下げられたことで、主権者教育が注目されています。3年生の中には、3年後の参院選で選挙権を行使できる生徒もいます。来たるべき日のために、実社会と関連付けながら、生徒会活動や教科の学習を通じて、市民の義務や権利について学んでいくこととなります。



1年生「牛窓研修」

1年生は、5月12日（木）に前島で牛窓研修に行ってきました。保護者の皆様には、綾浦コミュニティまで送迎していただき、ありがとうございました。

雨天のため、ハードなウォークラリーとなってしまいましたが、誰一人離脱することなく、ゴール地点のカリヨンハウスに辿り着くことができ、感動しました。道中、大阪城築城残石群に立ち寄って説明を受け、400年前に思いを馳せました。

午後からは塩づくりと作陶に挑戦しました。牛窓では、かつて太陽光を用いた塩づくりが盛んでしたが、現在はその塩田跡地で太陽光発電を行っています。今も昔も太陽光を有効活用する先人の知恵に感心しました。また、地域に伝わる寒風焼と備前焼が、釉薬を使わない須恵器にルーツがあることも知りました。

牛窓研修を通して、人との関わり方を学ぶとともに、郷土に誇りを持つことができました。これからも、郷土愛を育む教育活動を行っていきたいと考えています。



2年生「立志広島研修」

2年生は、5月12日（木）に立志広島研修を行いました。保護者の皆様には、学校まで送迎していただき、ありがとうございました。

国立広島原爆死没者追悼平和祈念館で講話を聞いた後、広島平和記念資料館を見学しました。資料館には、被爆した無念な中学生の遺品や生きた証が多数展示され、胸を締め付けられる思いがしました。

続いて、原爆の子の像の前で、一言一言に気持ちを込めて群読（平和宣言）を行い、ウクライナ国旗を模した千羽鶴を献呈しました。像のモデルとなった佐々木貞子さんの折り鶴の話は、3年生の英語の教科書にも取り上げられています。次年度修学旅行後、英文で読み返すと、より深い学びができると思います。

その後はお好み焼きに舌鼓を打ち、フェリーで宮島に渡って班別自主研修を楽しみました。

先の大戦を知らない世代ではありますが、連日報道されるウクライナ情勢の影響もあって、よりいっそう恒久平和を希求する気持ちを強くしました。



6月の論語

じんしゃ かた さき う あと
仁者は難きを先にして、獲ることを後にす。

人徳をそなえた高潔な人というものは、だれもが嫌がるようなことを自分から進んでするものだ。これをやれば、どんな利益があり、どんな名誉が得られるかなど考えて行動しないよ。（閑谷学校顕彰保存会）